

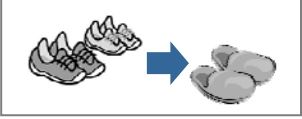


D 簡便な情報ツールの作成と活用

E-1 翻訳

1 翻訳の前に

- 地名、建物名、人名などの固有名詞は、翻訳せずローマ字で表し、「○○River (川)」「Lake ○○ (湖)」「○○shopping Moll (商業施設)」などの英語を補足します。
- 外国語併記ではなく、ピクトグラムや写真や図を用いて説明した方が、国籍を問わず分かりやすい場合もあります。

ピクトグラム で示す	<ul style="list-style-type: none"> ● 誘導したり、禁止することを絵文字にしています。 <p>(例)</p>  <p style="text-align: right; background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">G-1 翻訳事例集 1 参照</p>
写真や図を 使う	<ul style="list-style-type: none"> ● 禁止事項などは、言葉で示しづらい内容は、写真や図に「×」や「→」などを使って禁止することを伝えたり、誘導したりします。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>写真や図</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

2 まずは「英語」を併記する

- 多くの外国語を翻訳することは、作業もコストもかかります。ひとり歩き旅行者の多くは多少英語を理解している人が多く、最低限の対応として、まず英語併記を行うようにします。

3 簡単な翻訳ならば、自分たちでやってみる

- 最近では、日本語を入力すると外国語に翻訳してくれるオンライン翻訳サービスがインターネット上にあります。それらを使って、簡単な言い回しや単語は翻訳することができます。

★翻訳ができる web サイト

GOOGLE グーグル翻訳
<http://translate.google.co.jp/?hl=ja&tab=TT>
 YAHOO 翻訳
<http://honyaku.yahoo.co.jp/>

3 すべて直訳では通らない

- 日本独特の敬語や遠回しな言い方は、そのまま訳すと伝わらない場合もあります。すべてを「そのまま直訳」とせず、その言語にあった翻訳を心がけます。

【注意】「ご遠慮下さい」「努力してください」は、YesかNoかはっきり分かるように示す。

4 翻訳には最低限地域での統一を

- 複数の翻訳の仕方が考えられる場合、複数の翻訳者が分担して翻訳すると、同じものを指す場合でも異なる翻訳になることがあります。地域の中で翻訳のルールをつくって、掲示物や印刷物の翻訳を統一するようにします。

【例】「温泉」は、「Hot Spring」「SPA」「ONSEN」などさまざまな訳が全国で使われている。タクシー乗り場は「Taxi Stop」「Taxi Stand」などの訳があり地域で統一されていない場合もある。地域で翻訳の仕方を統一すると観光客にも分かりやすい。

【例】登別温泉では、「温泉」は「オンセン」が海外でもある程度浸透していると判断し、意味を訳さず「ONSEN」と表記とし、「地獄谷」は「地獄」「谷」の意味が伝わった方がよいと判断し、「Jigokudani (Hell Valley)」と、ローマ字読みと意味を訳した英語表記を併記した。

5 翻訳後はネイティブチェック&更新を

- 翻訳能力や仕方については個々の差があります。翻訳したものは、ネイティブチェックを行うようにします。留学生や外国語教師など身近な外国人に協力を依頼して行う場合が多いです。
- 一度翻訳したものは、コストや手間がかかるため、あまり更新されない傾向にあります。『日本語版』の改訂とともに再度翻訳を行うことが望ましいです。

6 英語以外の外国語併記について

- 英語以外の多言語としては韓国語・中国語を併記するのが一般的です。ただ、地域によってどこの国から多く来るのかは異なりますので、地域の実情に合わせて英語以外の言語を決めます。
- 「中国語」には、中国本土で広く使用している「簡体字」と台湾、香港、東南アジア華僑等で使用している「繁体字」があるので、両方表記するようにします。

7 外国人への案内表示ガイドラインの活用

- 北海道運輸局や北海道、札幌市では、これまでに外国語による案内表示等のガイドラインを作成しています。実際に案内板やサイン、パンフレットの作成に当たっては、これらを参考にすることをおすすめします。
 - ・『多言語案内表示ガイドライン』【富良野・美瑛広域観光地域、知床観光地域】北海道運輸局（平成22年3月）
 - ・『外国語表記ガイドライン』【英語、中国語、ハングル】札幌市（平成25年度版）
<http://www.city.sapporo.jp/kokusai/publications.html>
 - ・『オホーツク多言語』オホーツク振興局（平成24年2月）
<http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/kanko/>